



すごいぞ！柏プロジェクト！

2021年11月1日 第4号

藤ヶ谷の農家 近藤さんの農業教室！

10月25日(月), 藤ヶ谷新田でかぶなどを育てている農家の近藤さんに学校へ来ていただき、かぶ作りのアドバイスをいただきました。実際に校内の3年生手づくりの畑を見てもらい、草抜きや間引き、害虫駆除など、子どもたちが知りたかったことをたくさん教えていただきました。

子どもたちは、9月の種まき以降、1人1台端末を活用して、かぶの育て方について調べ学習を進めていました。また、自主学習ノートに、かぶの育て方について自ら調べてくる子もいました。しかし、やはり実際に農家の方に直接話を聞いてみたいということで、今回、近藤さんに学校に来ていただきました。

近藤さんは、風早南部小のすぐ近くのところで、25年間、農家をされています。小かぶやねぎ、大根などを育てているということでした。



収穫まで2週間！思うように育たず... ピンチの3年生のかぶ！

3年生のかぶ畑は、うまく発芽したところと、思うように芽が出ていないところがあり、子どもたちも心配していました。畑の大きさに比べ、うまく育っている数は、とても少ないです。近藤さんによると、今年は気候の条件から、発芽率がやや良くないということでした。

さらに、かぶの芽がたくさん出ているところは、間引きが必要でした。子どもたちも間引きについては、調べ学習で学んでいましたが、「かわいそう」「もったいない」という考えもあり、意見が割れていました。しかし、近藤さんから、間引きしないと「かぶが丸くならない」「大きく育たない」という話を聞き、間引きの仕方を直接教わって、間引きをしました。また、畝だけでなく、かぶ畑の周りも草を抜かないと、害虫が寄ったり、栄養を取られたりしてしまうということで、もう一度周辺の草抜きをしました。以前に比べて、かぶ畑はとてもスッキリとしました。収穫までは、あと2～3週間だそうです。



ただ、農薬を使用していない3年生のかぶは、葉が虫にやられているものも多く、こちらでも対策が必要でした。そこで、近藤さんから、農薬を使わないとうがらしとにんにくを使った虫よけスプレーの作り方を教わりました。こちら、すでに調べ学習で見つけていた子もあり、実際にくわしく作り方を教わり、実行することにしました。

当初の見込みより、数はやや減ってしまいましたが、残ったかぶの苗は無事に収穫できるのか、残り2週間のお世話が大切になってきます。